# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金八十錢▲六ヶ月前金一圓六十錢▲一ヶ年前金三圓十五錢
廣告料　五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別欄は別に協定す
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久郁一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

## 雑報

### ●大豆粕輸出高

昨四十三年中大連營口安東縣其他三十有余の港より滿洲産大豆豆粕の總輸出高を示さんに大豆百二十八万三千噸豆粕四十九萬九百噸合計百七十七万三千九百噸にして前年の大豆輸出高九十六万七千噸に比して三十一万六千噸を増加し又豆粕前年の輸出高六十一万二千噸に比して十二萬一千百噸を減少せり總計に於ては前年に比し十九萬四千九百噸を増加せり而して同年の輸出大豆百二十八万三千噸豆粕の四十九万九百噸を合計せば百七十七万三千九百噸となる

### ●南浦七月中の金融

同地去月中に於ける金融狀況は輸出穀物も一段落を告げ輸入商側も極めて閑散なりし爲め新たなる資金の需用起らざりしも鮮人側にありて客主間の精算資金小麥買出穀約資金等の新需要起り穀物移出者鮮なるが三千石の輸移入あり目下一萬俵の在荷にて水害後地方買付盛んなるに依り貸出は内地人側減少せるも鮮人側は増加一方にて差したる繁忙もなく平静なる裡に越月せり今鮮銀支店、農銀支店、百三十支店の三十一日現在帳尻は左の如し

預金　三三七六、四七五六
貸金　九八五二、四六六二
金鐵　一〇〇八、三六三四

### ●栗樹栽培計畫

平南道内に於ける栗は味甘脆にして菓子用として最も好適し殊に道勧業課にては之が栽培奨勵の道を講じ居たりしが四十五年度に於ては更に事務に於て地方費豫算を以て七百五十二石六斗九升をまき此他苗百万本を無代配付すべきがかくの如くして其年数丈益長するものとするも十年後には確實に十萬圓の收入ある見込なりといふ

### ●南浦最近輸入貨物

二日入港の第二元山丸にて同地に陸揚げしたる輸入貨物は石炭千七百九十二噸、鑛油三十箱、第六共同丸にては帆布、製米袋二十一個、綿糸四十八個、支那式スコップ百二十個六十噸なり

### ●營業擴張移轉

進立平壌營業機關所は元歡送跡にありしが今回擴張のため營業宮に移轉の事となり目下工事中なるが八月末竣工すべしと

### ●新刊紹介

△新公論(田園號)　田園救治の根本政策を始め松岡男爵澤柳東北大學總長高橋博士山路愛山諸氏の田園に關する意見を纂めて着眼せしむ「田園救治論」は筆鋒鋭鋒東京の新聞、新聞社長な文字あり萬報一覧は(一冊二十錢東京市本郷區東片町新公論社)

△東京經濟雜誌(千六百五號)　社説「日米國交の將來と互惠條約」丹羽筑山の「日本の文明と經濟的價値」和田垣博士の「實業協會直見の「國有と國營」等適切の論議多し(一冊十二錢東京市京橋區瀧左衛門町經濟雜誌社)

△社會政策(八月號)　板垣伯の「貴族院議員の平撰擧法」「帝國の外交策」「戰爭市有の利害」有賀に老伯の着眼凡を拔ける名士の再讀を要す此他社會政策に關する名士の意見を載せ阿羅漢仙人の「南無阿陀羅」は時弊を穿ち得て妙と叫はざるべからず(一冊十五錢東京市芝公園社會政策社)

△婦人畫報(八月の卷)　鮮明なる寫眞版は幾十頁にわたり凉味掬すべき風景貴婦淑女の容姿各地の風俗等を蒐め記事としては家庭に有益なるものを掲げたり(一冊二十五錢東京市麴町區飯田町四丁目東京社)

△繪葉書畫界(七月號)　凉味紙上に旺溢し銷夏の讀物として肩の凝らぬ記事多し(一冊十錢東京市神田區柳原川岸永井三星堂)

## 外事一束

△佛國　戰備を整へ摩國問題に就て讓歩せずの記事を否認して獨逸滿足すと

△佛土　鐵道契約調印了り青年土耳其黨と佛資本家と接近し鐵鉱採掘權獲得す

△墨國　鑛山同盟罷業し七千大衆暴擾四千軍隊急派す料米人恐慌爆發の虞有

△上院　問題轉進政府は五十名位の新貴族を作り九日否認案上院の議に入可

△露國　借款に對し日露は今後參加す可しと外務部當局直話後れたるも尚可

△露領　内の出稼清人證能なきは無暇渡し處過す爲に總督出境を取締ると

△鮮人　取扱從來清人同樣なりしを外務部の訓令にて爾今日人として優遇す

△露政　府路滿條約改正に付概士安全を名とし黒龍江省興安嶺を國界とし北

△露各　種の權利を放擲するを辭せず

△五千　名の倫敦船渠人足賃銀増率を要求し又復同盟罷業す罷業の味不忘乎

△佛紙　激昂し獨の冷然萬國公法を無視するを難ず昨今は佛獨は紙上の戰爭

△英露　同文通牒を波斯に送り廢帝の政治運動に不賛成なる旨を公言せりと



## 文苑

◎折にふれて　敏學士

夏はまた窓の蓋に明さまし仇にすごさん月日ならめや

うゑし蚊のゝまよふあらばよりも來よやせしわが身の血はあふれぬる

◎滿韓視察のため京城に來りたる友を送りけるとき

荒れはてし道ひらきつゝ國のためこまもろこしも踏み分けよ君

### ●運命　オルハン生

九十度を越したと云ふ此夏の盛りに五時過ぎまでも勤めて、シンプルな下宿に歸つて來ると、沛然と雨が降つて來た、ポプラの葉に大粒なのが當つてパラ〳〵と音のするのを窓から眺めて居ると、ピショ濡れになつたチョンガーがチゲを背負つて通つて行く、破れた上衣からは体が半分も顕れて居る、それに草鞋は片足ッ、チゲの父、懸けて自分には跣足である、只パンのために此暑さにも終日働かねはならぬ自分のライフは恐らく社會の最劣等の者だらうと考へて居たの又今此憐れなチョンガーを見て何だか自分と同じ運命をたどる道連れがあるやうな感じがした。



### ●あこがれ　溝郎

寒暖計は九十何度と云ふ、米國では多數の日射病患者を出したと云ふ、朝鮮では日中に星が見へたと云ふ、此頃越後の糸魚川では佳人が相抱いて殉死したと云ふことを新聞は傳へた、年齢は何んでも二十才とかどちらも東京第二高等女學校の出身とやら。

私は此の記事を初めて見た時は恰度大家の詩集か何ぞ見た時の様で大聲あげて泣きたかつた。

——若き男女が燃ゆるうち敢果ない現世を見限りて未來永劫愛の生命に生き様とする情死も實に優美である

それは詩も詩もてゝに於て極りありと謂ひたくなるが然し是と他の一面より見たら又其過半は異性間に起る肉が肉を愛するの愛ではあるまいか、愛と謂ふべきよりは情であるだから神秘の美感を通り過ぎて、あまりに要領を得すぎた感がする様である、それに引き換へて女と女が相愛し相愛され不自然なる戀が絶對幽玄に向上して物質を超絶して終まつて愛慾極まつたところで、少さい手と手と相抱いて遠も幽冥に近き北國の糸魚川にて。

そして一セコンド毎に現世を遠ざかつて行く二人の情愛を男の立場からして見たならば豈に詩人たらずとも千萬無量の感慨に泣きたくなるであらう古來より同性間に於て異性間に於けるそれの如き戀が成り立つたと云ふ事は往々ある、うれで實體は不可能なる生殖欲と絶對なる憧の情とから成り立つて居るものであるがだから其間に異性間に於けるより以上のインシプレーシヨンがある、戀に生れて戀に死する人の子よ自然と諍ふを止めよ今は自然の本性を沒却して只々憧憬の愛に生きるのみ。



### 召使れ初　第百二十二回　黒法師

「さて〳〵」とれ察は一尺ばかりも進みて「寂しいこと爲されました喃」「女の身に大うれた事と存じてはでざりましたが、母様に一目逢ひたいが一心、彼れを御覽なされませ、このれ庭の方隅に、赤松の大きいのがござります、彼の松の幹を傳うて、屋根へ上り、うてから彼方へ降りますと、うこが拾どれ表御書院のれ庭外でござります、最も一面の荒地、草木が茫々とあるばかり、見咎める者は一人もござりませぬで、思ひのまゝに不淨門のれ築地から、逃げ出したのでござります」とれ君は斯程の大事を詞輕く云ひたりき

れ察は沈と考へぬ

れ君どのが母御前戀しきと同じく、我身も亦父樣戀し、れ君どのが當夜を過しては、再び逢ひ見る便宜無きと同じく我身も今宵を過しては、今生のれ暇乞ひ爲すべき機會無きかも知れじ、れ君どのも人、我身も人、れ君どのゝ爲されたる事、我身の手に爲されぬ筈なく、れ君どのにれ咎め無かりし事、我身にのみ御咎めありとも覺ねず。ここ門限の後、塀を越え、れ築地を乘り越して、恐に外出せんは、假にもれ奥に勤める身が、好みて爲すべき事ならねど、孝道を全うする爲め犯したる罪科は、れ上袰にもそれ〳〵御容赦あらする由なり、万一の御惰を恃みて、恐しき罪を犯すは、旦那樣に對して澄まぬ〳〵、うれの御詫は爲すべき時節も來ねど、れ父樣御大病、一時の後れにて一生取り返し付くまじき後悔を殘すとは限らず、御門限に後れて、途方に暮れ居れる耳元へ、れ君どのの夫となる御祠を聞くも神樣の御加護と思し、我もれ君どのゝ究智に倣はん

「左樣なこと爲させられても、れ咎めはござりませぬか」

「誰も知つた者はござりませぬ」とれ君は聲を秘めつゝ「假し誰人に見られうとも親孝心で致すことでござります、れ上袰僧かせられても、それだけの御容赦あらせらるゝは知てござります」

「異個に謂うでござりませう喃」

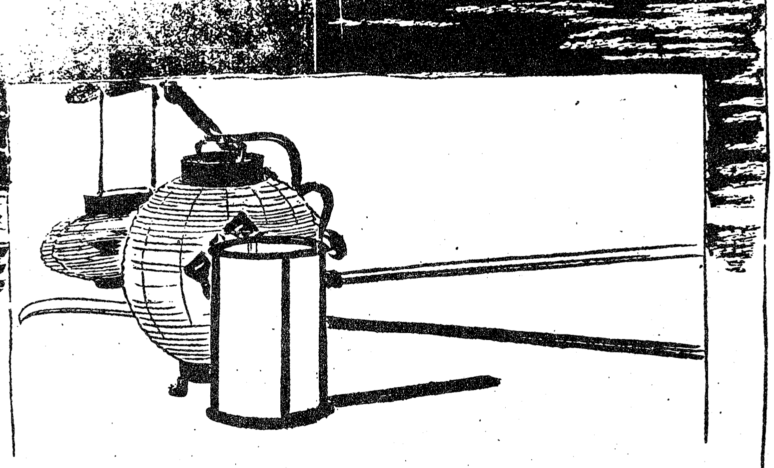
「れ勤めは致しませぬ、親大病の噂を聞いては、心も沈着かず、とば〳〵とするが常、さりとて御門限を什麼とせうやうもなければ、あなたもれ覺悟なされませ、彼の赤松は私やあなた樣見るやうな不幸見が、切て親々へ孝行する助けの枝を埀れて居る氣にも見ゆます」とれ君は心あり氣に云ひたるが「ほ、私とした事が、肝腎の御用忘れて居た、異平御免あらせませ、これでれ別れ致すでござります」

れ君は何かと思ひ付きたる樣にそは〳〵として奥へ入りぬ、日は全く暮れ果てゝ、星の光り鮮かに、北風寒くれ庭の中に吹き滿ちて、忍び出るには屈竟の時節なり

「れ君どのれ智恵を拜借致しまする、神々も佛樣も、旦那樣御恕しござりませ、れ察のこの心を不憫とも思し召しませ、れ父樣に今生のれ暇乞ひ致したさ恐しい罪科犯すでござります」

心の中に彼方此方を伏拜みて、やがてする〳〵と赤松の根元近く進み寄りしが、折柄四邊に人の氣は無し、時分は好しと思ひつゝ、松の小枝に片手を掛けて飄然と塀に攀ち上る此時遲く彼時早く、長屋の庇の下に聲高く

「曲者でござります、奥れ庭のれ築地に曲者忍び入つてござります、れ出合ひなされ〳〵」



京城新報

## 移住民戸籍設定
為政者の講究を望む

そも領土の經營は、政府にして歐米諸國に於ける領土の進歩發展は經濟的現象に外ならざるの理を覺り、武力的威壓手段を避けて、專ら拓殖的方針を執ることゝ、國民にして遠大なる目的を以て領土に移住し、資本を活用し、或は資本足らざる場合に人力を利用し之を經濟的に補塡する等に因つて始めて成功を期せらる可きは、彼英國民が葡萄牙人の失敗せる印度に成功し、西班牙領の阿米利加が繁昌せざりしに反し英領阿米利加の進歩顯る著しく、殊に合衆國の發達隆昌は之を加奈太の英領殖民地に比すべきにあらざる等、其差異の因て生ずるものは、英國人種の他人種に比し歴史上その內國にあると外國にあるとを問はず、政府に依頼せずして自己を信頼することの深きと、一面政府も亦國民の信念を徧迄發揮せしめむことに勗めしの結果なるに鑑みて之を知る可し。而して今や內地人の半島の地に立脚の根底を造らむがために移住し來れる者又資本を投ぜむとする者逐次增加の傾向を示せるは、これ我國民の英國民的自奮心の必要なるを自覺せし徴候として洵に慶すべきものなりとす、然かも況むや併合前より移住して商に農に工に各々欲する所に努め及其の利益を保全せしため自治體を形成し、嚮に精克く國民經濟的發展の先驅を務けたる者にありては、其領土擴張に資せるの功や決して沒すべからざると共に开が進路展開の自由を與ふることは、我の半島に於ける最始にして最終の要務たらずんばあらず。吾人が屢々內地人自治制を破壞することを不可となす所以のもの要するに玆に歸着す吾人は此見解に因つて更に移住內地人の戸籍を半島に設定するの必要なるを感ぜずむばあらず。それ我國の如く家族的發達を遂げて今日の大を致せしものにありては、祖先崇拜と戸籍を重むずるの念最も深きは、之れを國家が戸籍法を制定し、國民の身分取扱ひを忽にせざるに見て知る可く、從つて國民の戸籍觀念も極めて厚く、到底他國民の及ぶ所にあらざるなり、故に新領土に移住する者をして、可及的戸籍を併せ移さしむるの方法を講ずるは再び他に轉ぜざるの決心を固くせしむるものにして、豈爲政家の研究すべき問題ならずとせむや。加之併合後半島在住內地人の身分に關する屆出は直接其本籍地戸籍吏に之を爲すことゝなり出産死亡結婚縁組等總て移住者より本籍地に屆出さるべからず若し屆書中生年月日の相違其他不備の廉あらむか、訂正又訂正の類は遠隔せるだけ、一層甚しきを感じ、終に煩を重ね不便を苦痛とせる餘り不知不識の間身分の屆出を忽にする者亦無しとも限られざるなり況や又移住民にして出身地を同ふせるもの互ひに糾ふて會を設け、所謂島國根性を脱する事能はざるの弊あるを見るは、これ要するに移住地に各々戸籍を有せざるがためなり、如此弊竇は移住民戸籍の設定と共に漸次消滅すべきは蓋し疑を容れざる所たるを以て、吾人一昨年來の主張たる內地人戸籍を半島に設定するの方法を研究せむ事を重ねて政府及び政治家に慫慂せざるを得ず

### 東京電報

▲英米米佛仲裁條約 英米及米佛間の各仲裁條約は四日華盛頓、巴里にて夫々調印濟となれり

▲二百萬圓補助 內務省は明年度各府縣道路補助費二百萬圓以上を支給する方針にて目下調査中なり

▲英國上院否認權問題 英國政府は新に貴族を作る事なく上院否認權制限は上院に廻付する事に決せり

▲靜岡地方の强雨 三日夜來强雨あり各地出水せしが靜岡地方殊に甚しき模樣なり

▲汽車電車乘客保險成立 障害保險會社は今回鐵道保險會社を新設し日本全國鐵道線路及汽車、電車に搭乘し不時の障害を蒙りし者に對し保險を附することゝなれるが保險額は千圓を基準とし保險表を赤青白の三種に別ち赤を拾錢とし三日間有効青を十五錢とし同四日間白二十錢同八日間の勘定を以て一人一時に三人分を購入することを得る事とし新橋驛にては來る八日より其他の各驛にては近々保險表の發賣を爲すべし因に保險金額は夫々障害の程度により左の區別を定むる由

一、兩眼の視力を失ひ或は双手双脚又は手脚を失ひたる時は保險金の全額
二、片手一足片腕又は一足を失ひたる時は百分の五十
三、片目の視力を失ひたる時は同じく百分の三十
四、左右たるを問はず親指を失ひたる時は同じく百分の十
五、足の一指を失ひたる時同じく百分の五
其他一指を失ひたる時同じく百分の三
其他の場合には治療費

▲日露協會の發展 日露協會は總裁に閑院宮殿下を仰ぎ會頭に寺內伯副會頭に後藤男を推し大發展の豫定なり

▲陸軍大演習期日 十一月より九州地方に於て行はるべき陸軍大演習は十三日より開始のことに決定す

▲日墺條約締結期 暫定取極を爲せる日墺條約は來る十二月迄に本條約を締結する筈

▲東海道の水害 數日來の暴風雨は五日に至り益々其勢力を增し人家の破壞甚だ多く濁水道路に氾濫し其光景は中々に物凄かりし愛知縣下の各川も亦氾濫し堤防の欠潰橋梁の流失夥しく又各川に沿へる田畑多く浸水し交通杜絶したる所多く目下夫々修復工事中なり又濱松市內の浸水數百戸に及び輕便鐵道不通となれり中央線松本笹間に山崩あり汽車不通となる富士川は一丈六尺笛吹川釜無川各十二尺荒川は七尺何れも增水し尙增水の模樣あり又大井川天龍川阿部川各增水し堤防の欠潰少からず被害甚しき見込なり

### 雜報

●森林令施行期 過般發布されたる森林令は來る九月一日より施行する事に決定し八月七日付府令第九十號を以て發布されたり

●總督府と隨意契約 朝鮮總督府及其所屬官署に於て物件の賣買貸借をなすに當り痘苗製造に要する犢牛を買入れ又借入るゝ時牛馬改良奬勵のため牛馬の賣買をなす時平壤鑛業所に於て其事業に要する杭木を買入れ又は煉炭の製造に要するピツチを其生產者より買入るゝ時は何れも隨意契約に依るを得可く又平壤鑛業所に於て石炭及煉炭を賣渡す場合には會計規則第八十二條の契約書を省略する事を得べき旨八月一日付勅令第二百二十號を以て分布されたり

●水力電氣調査期 豫て通信局に於て準備中なりし水力電氣調査計畫は略ぼ決定したる由にて河川調査着手順序其の他に付目下審理中なるが來る二十日頃までは決定を見るべく然れば來月初本調査に着手するに至るべしと

●教監講習會 既報の如く新任公立普通學校教監講習會は七日午前九時より日の出小學校に於て關屋學務局長以下弓削小田の兩課長石田視學官講師及講習教監百三十余名出席開會し關屋學務局長より普通學校の沿革、同施設の狀況同教育方針等に付一時間餘に渉る訓示あり次に講習に移り正午散會したり因に會期は七日より二十六日迄二十日間なりと云ふ

●講習會科外講話 別報の如く教監講習會は昨七日より開會したるが科外講話出演者氏名及日割を記せば左の如し

▲七日朝鮮金融機關藤原書記官▲八日朝鮮事情鹽川事務官▲十日衛生講話未定▲十四日朝鮮の農業中村技師▲十五日朝鮮林業齋藤技師▲十九日朝鮮地方制度小原局長▲二十一日朝鮮警察制度亥角警務官▲二十二日教監實驗談未定▲二十五日同上同

●京畿慈惠院狀況 京畿道慈惠醫院に於ける七月中の內地人患者數は二百二十五人にして六月の二百六人に比すれば十九人の增加なり然して鮮人患者數は七月千百四十八人六月千二百二十七人にて都合八十六人の減少を見たるが激增の豫想なりし鮮人が反つて減少せしは農事の繁多と降雨多かりしに原因するものゝ如く漸く八月初めより患者增加しつゝありと

●京釜長距離電話 本年度內に開通の豫定にて通信局に於て起工中なる京釜間長距離電話工事は着々として進捗しつゝあるが架線工事は材料取集其の他の都合上多少豫定より遲延免れざるも來る九月始めまでには該工事の着手を見るに至るべきを以て今后天候さへ良好なりせば遲くも本年末までに完成を告ぐべしと

### 朝鮮の製鹽事業
奧大藏省技師の談

▲今回の視察 予は去る四十年當時度支部よりの依囑を受け朝鮮に於ける製鹽事業の狀態及び鹽田計畫に關する方法を視察研究すべく渡鮮し其の結果朱安、廣梁灣の二個所に鹽田を設けしめ爾來毎年渡鮮して之れが狀況を實視しつゝあり本年も例年の如く渡鮮し朱安廣梁灣の鹽田を視察したるが兩鹽田其年を經るに從つて將來の有望なるを想ひ衷心欣喜の情に堪へざるものあり

▲最初の計劃 由來朝鮮に於ける製鹽の方法は煎熬法にして其の發達極めて遲々たるものなるが此の方法は燃料に多大の費用を要するを以て比較的利益少なく從つて十三道を通じて五百町歩の製鹽所あるに過ぎず而して之れが規模至つて小さく模範經營として見るべきもの一もあるなし依つて予は朝鮮の氣溫及び海岸に於ける土砂の狀態に鑑み先つ最初試驗所として朱安を撰み次で廣梁灣に及び爰に天日製鹽法を施して之れが計畫を實行せしむるに至れり

▲天日製鹽法 天日製鹽法は其の土地に於ける氣溫と海岸に於ける土砂の如何とに依りて行はるるものにして第一海岸に於ける灣形の狀態宜しきを得加へて雨量少なく晴天長きに亘り從つて溫度高く濕氣少なく尙海岸は粘土を以て滿され且つ運搬に便利なる個所を以て宜しとするものなるが朱安と廣梁灣とは專ら之れが風土に適ひ殆んど理想的鹽田といふも過言にはあらじ尤も朝鮮全道を通じて到るところ天日製鹽法に恰當せるにはあらず重もに西北地方を以て可なりとす

▲廣梁灣鹽田 廣梁灣の鹽田面積は一千町歩にして四十一年計畫し四十二年政府事業として經營することゝなりたるが右鹽田工事は一千町歩の內五百餘町歩は既に完成し殘四百餘町歩は來年四五月頃迄に竣成する豫定なり尙昨年の生產高は二十五萬斤にして本年は先月迄に二百萬斤なるが鹽田工事完了して數年を經ば優に豫定の一億二千萬斤の生產を見るにいたるべし而して鹽田工事と製鹽に從事する勞役者は重にも鮮人と淸人にして其の數約三千人なるが工事完成せば四五百人にて事足るべし尙豫算は工事竣成迄に百十萬圓にして一町歩一千圓の割合なり

▲朱安製鹽所 朱安製鹽所は前記の如く四十年の計畫に係り鹽田面積百町歩にして工事は全部今春竣成したるが昨年の生產高は百萬斤にして豫定生產高は千二百萬斤なり尙昨今製鹽に從事する勞役者は五十人なるが製鹽の價格は廣梁灣と同じく一等百斤六十五錢二等百斤五十五錢なり而して度支部にては廣梁灣鹽田工事完成後は最初の鹽田經營計畫に基き更に時機を見て千四百町歩の擴田經營をなす豫定なり云々因に廣梁灣の如き大規模の鹽田經營は世界稀なりとの事なり(一記者)

●明石總長視察 明石警務總長は五日寺內總督を釜山に見送りて同夜同地に一泊し六日午前十時神崎警部を隨へ馬山に赴きたるが各分晉川を視察すべく歸任は九日なるべし

●農商工部移轉 既報の如く倭城臺に於ける總督府の新築工事は粗ぼ竣成したるに付き農商工部は來る十五日移轉の筈なりと云ふ

●朝鮮書籍解題 取調局にては李王職より引繼ぎたる書籍の整理中なるが殆んど一萬部に近き事とて容易の事には非ず且つ目錄のみにては內容を知ること能はざるを以て朝鮮書籍の全部の解題を作製せんと目下着々其歩を進めつゝあるも大部の事なれば其完結は早くとも來春なるべしと

●築港祝賀會決算 仁川築港祝賀會決算會議は去五日午後三時半より民團樓上に於て各委員出席し寄附金總額七千五百三十一圓九十錢支出金五千六百三十二圓二十七錢殘金千八百九十九圓六十三錢殘金取分の方法は內五百圓を仁川築港沿革史編纂費として築港設備委員會に寄附し千三百九十九圓六十三錢を日本公園地設備裝飾費として民團へ寄附する事となして散會せり

●京城最近商況 七八九の三ヶ月は內地と同じく商況不振の例なれども今年は日本人の移住激增の割に比し不景氣一層甚しきは京城も次第に秩序的發達をなしつゝあるものを見る可きか、加ふるに上旬來十餘日の霖雨は益々商況委靡せしめたるのみならず京釜京義線の不通は一層の打擊を受けたるものゝ如く中旬に入つては日本人間の中元贈答として洋酒、ビール、砂糖、麥粉の三割程の增加あるも吳服、小間物類の二割方減じたるは暑中巳むを得ざる所なるべし一方鮮人間は農業の爲に海產物、麻布、石油の需要減じ價格稍々下落したるも金融は順潮にして輿當流を買戾す等や前月來殊に盛なり、米穀は月末關稅の引下あるに係はらず內地の暴騰に向つて移出する傾向の見えずして猶十四圓五六十錢を往來するは多量の移出尻を受けて在來の減小に基因するものゝ如し(商議當局者談)

●夜學校公開講演 旭町一丁目京城夜學校にては九日午後七時より朝鮮總督府技師渡邊鷁一氏の千里眼に關する講話を公開する筈にて一般希望者の聽講隨意なりと

### 金融組合の成績
度支部書記官藤原正文氏談

朝鮮の金融組合は施設以來五年を經過し全國に亙り百三十ヶ所を數へ今年新しく設くるもの三十ヶ所、一ヶ所の資本金一萬圓にして全部百三十萬圓及補助金一萬一千七百圓は政府の給與に係り今後も續々其數を增し地方產業の發達に資すべき方針なり尙去る五月末調査せる成績を示せば左表の如し

| | |
|---|---|
| 組合資本金 | 一、三〇〇、〇〇〇 |
| 積立金 | 一五七、一四六 |
| 貨幣整理資金及補助交換資金 | 二三、四六二 |
| 補助金 | 一一、七二四 |
| 各種勘定金 | 三、七一三 |
| 純益金 | 三五、八七〇 |
| 計 | 一、五三一、九一五 |
| 貸付金 | 九七九、八三二 |
| 預ヶ金 | 三二六、六七六 |
| 農事模範費 | 一七、六九五 |
| 所有物 | 六八、二五九 |
| 各種勘定 | 五二、〇三三 |
| 手許在高 | 八七、四二〇 |
| 計 | 一、五三一、九一五 |

備考　組合數は百三十個所にして其內譯左の如し
京畿一三、江原九、忠南一三、忠北七、全南一五、全北一三、慶南一三、慶北一三、咸南二、咸北四、平南七、平北七、黃海八

而して此組合は地方細民向上の爲に設けたるものにて組合員は小作小農小漁民に限り一人五十圓を限度とし貸付期間は三ヶ月乃至十ヶ月のもの多く使途は種苗肥料等年內の收穫を以て返濟し得るもの又は小漁舟手網の買入の如く專ら箇人の便宜の爲にし其利率は一般鮮人間に行はるゝ日步二十錢(典當局の如きは二十錢以上なり)內外の高利に對し組合は僅に四錢五厘前後にて借人日常の勤勉技能性質等の信用程度に準じ貸與す而して實際の需要額も十五圓より三十圓位のもの尤も多く此位の程度が鮮人の力に相應せるものと見え回收確實にして成蹟甚だ良好なり、殊に本制度は英獨諸國に於ける庶民銀行を模したるものなれども其規模素より彼に比すべくもあらず蓋し米券制度又は倉庫證券の如き農產物の融通法皆無なると一般農產物の貧小なるに基因するならんが米券制度は到底利用すべからずとして總督府が倉庫證券制度竝倉庫の設置に留意して金融組合の理事をして地方產業行政の中心とし部落繁榮の責任を負はしめたるは頗る機宜を得たりと云ふべく加ふるに該理事は貯蓄を勸誘して鮮民をして生存に對する永久の觀念を喚起し一方養鷄莚製造等手近なるものより養蠶製織に至る迄盛に副業を奬勵し其產物を倉庫に納めしめて資金を貸與し價の高きを待つて賣り殘額を返戾し或は貯はしむる等、部落倉庫は金融組合と相俟つて地方振興の中心の觀を呈するに至れり念ふに此種の者は將來到來す可き鮮民自治の根基たらしめ幾分自主權を與へ延いて學事土木に對する自治思想を起さしめなば所謂臺所口よりの接近にて効果を擧ぐるに便なるべく鮮民預金は郵便貯金の便利なるに放任するは權衡を失し且零細資金集蒐の本旨にも背くを以て何等かの監督を以て金融組合の資金に加ふるを可とす云々

●廣島觀光團茶話會 山縣政務總監は六日總督官邸に廣島觀光團の一行四十名を招待し茶菓の饗應をなしたりと

●ウエンチツと教授の視察 過日來入京中なる帝大教授ウエンチツと氏は曩に實業方面の狀況調査中なるが近日陸行元山に出で太田に歸り木浦方面の綿作狀況等も調査する筈なりと云ふ

●政務總監のウ教授招待 山縣政務總監は目下入京中なるウエンチツと教授を七日正午より總督官邸に招待し午餐を催ふされたり

●廣島觀光團下仁 廣島縣代議士荒川五郎氏外三十二名の一行は朝鮮觀光團の爲め七日午前九時四十分仁川着市中の觀察をなしたり

●電氣技師の任命 鹿兒島縣技師杜村國次郎氏は今回通信局電氣技師に任命され來る十三日鹿兒島發赴任の途に就くべしと

●岡本技師の歸任 目下歸省中なる通信局工務課長岡本桂次郎氏は來る十五日頃歸任すべしと

●佐々木支店長の出張 東亞煙草會社朝鮮總支店長佐々木雅市氏は業務視察の爲め八日當地出發平壤義州方面へ出張の筈

●日本大學校友會 日本大學校友會にて七日午後七時より廣島觀察團員として來京の校友代議士荒川五郎氏の歡迎會を白水樓に開く出席者三十餘名なり

### 公人私人

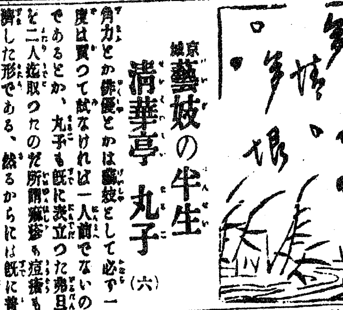
▲川上新一郎(工學博士)六日出發內地へ
▲飯田男記(辯護士) 同平壤へ

### ▲京城手形交換高▼

八月七日　金高 一〇八、六一三、二六〇　枚數 六二三

### ▲治外法權▼

寺內總督今度の上京に付きイツモよりは荷物が大分多かつたのを、不思議な樣に思つてる連中が幾らもある、併し考へても見玉ゑ、總督には今度麻布へ新邸が出來たので過日の上京に先ち當地から送り出された荷物の總ては新邸の必要品とあつて其方へ向けられたのであれば何も不思議がることはないのだ▲ト、記者は一應常識を以て說明をして見るが、サテ實際はドウ云ふものであるかと矢張荷物の多かつたのに幾分の疑問を抱き、事に因つたら總督はモー歸つて來ないのではないかと取越苦勞をさへして居る▲總督府のツギ足し工事が近々出來上る、農商工、度支、司法、の三部が倭城臺へ引移る、官制が改正される、某々の官が廢官となる、總督府の中央機關が縮少される▲サテ大詰はドウあるかと云ふに、無論今後の總督政治には偉大寺內伯の如きを要せずとあつて總督其者の更任を見る、ソレで一ト先發が付いて、衆庶が安心する▲時に出來んとする新內閣の大藏大臣候補者が澁澤男爵とは破天荒だ、思ふに男や引受けざらん、而かも男を煩さんとするに到れる、家貧ふして良妻を思ふものだ▲憲法の釋義に付き頑冥不靈の評ある、穗積八束が今度東大法科大學長を止めたのは、國家民人にとつての大慶事だ、而かも新任土方寧とて碌なものであるまいが、サリとて八束ほどの曲學者ではあるまい▲京城商議の會頭が今以てきマラぬとは困つた話、イツソ誰彼れと云はんよりは和田常市にしてはドウか。




## 京城藝妓の半生 清華亭 丸子 (六)

角力とか俳優とかは藝妓として必ず一度は買つて試なければ一人前でないのであるとか、丸子も既に表立つた兎且を二人迄取つたので所謂麻疹も疱瘡も濟した形である、然るからには既に普通の人とすれば立派に一人前の女であるが藝妓とすると未だ其の上に一つ**浮氣と云ふ修行が入用**のであると云ふ何ぼう手數の掛つた話ではある喃、左る程に大相撲一行は折柄乘り込んで來た正に此れ天の與れに與へ玉ひたる好機會であつた、否、彼れが藝妓として世に立つべき素質を如何なる程度迄有するやを験すべき試金石として天より下したる好機會であつた渤渤たる淫心を抱いて力士見物に出掛けた眼に着いたのは彼の**應來力士の梅の花**である彼れは在來人形喰ひであるのだ、而して此れを手に入れた無論買るにしても買うにしても仲介人は仲居である、即ちれつるを通じて買つて見たが錢のかゝる割合に好ましいものでない、然れども買つたからには此方が旦那だアノ大きな男が自由になる其所で浮氣の偶には必要なことを悟つた、嗚呼彼れは恰悧である此所に不思議な事は抱ゑ藝妓の浮氣なぞは最も忌む可き筈の樓主仲居が何故に此れを默許し又は媒合等の不埒を敢てするか不思議千萬な次第である

**九月の下旬岡君は又々鯨を取りに京城に來た**其の際串戯だか揶揄面だか兎に角丸子**落藉の相談の場なる幕を出した**、打ち割つた所を云ふと森一次さんを絞つて隨分爲めに成つて居るのだから當人の爲めとあつてれから女將一言なしあるまいことか例の梅の花一件の種明しをして「アノ妓の氣の多いのには」と溜息を吐いて見せた、岡君は内心チヤンチヤラ可笑しい「ハヽアれ驚め未だ丸子を食ふ必要だナ」と悟つたが無理にと云ふ代物でもなしとヅツと手を退いて終つた、夫れから後は大家の伴頭運を操つて居たが主持ちとあつては云ふ目が出ない例令小さくとも一本立の旦那でなくてはと心掛けて居た所へ好い案配に乘り掛たのが**永樂町**邊の**金貸業**西川とか西岡とか西何とか云ふ**元幾代の八重子**事現**京城券の春枝**の旦那であつた人であるが此の方ナカ／＼氣の多い方で**花月の君子**と云ふ好い妓を持つて居る、夫れと知つた丸子方は目下コツ／＼と君子獄散かしの策を講じて居る相である、先日平壤へ行つて居た事も本町一丁目通ひとは旦那には秘密にして居ると云ふ氣の毒だから記者も秘密を守つて筆を擱く次は

**捌翠樓 繁春**

## 金時鉉氏後日譚

▽根本志想の缺闕

さしも時めきし鮮人實業家金時鉉氏も計りし事の齟齬より一朝にして思はぬ損失を招ぎ整理の途に窮して漢江の水に起きつうたかたの泡と消ねたる無慘の亡骸はうら若き未亡人の手に依りて桑辱を外に郊外風雨き所に葬られき物の哀れは若き未亡人の抱ける遺兒の上にぞある、扨も其の後近親族一統打ち集りて**財產整理**の事に關し協議の結果改めて未亡人より之れに就て一切の權利を**李健爀**及漢湖農工重役**白完爀**並に**宋秉畯**の三氏に委任したるより三氏は先づ其の貸借關係を知らんとて故金氏の手文庫其の他を捜索したるも**債權債務を明にすべき帳簿一冊も無ければ**如何にとも手の着けやうもなく顏見合せて居る斗り然れど債務方は遠慮なく申出づるものなれば左して不都合なけれども債權に至つては誰れ一人名乘つて出る者なく大凡の見當は着き乍らも此れに關する書類なきに如何とも詮術なく徒らに人情の輕薄なるを憤慨するのみなるが中には未亡人が財產を隱匿せるには非ずやと云ふ者あれど實は**未亡人目下の窮乏**は見るに忍びざる程にて之れのみにしたる亡夫金氏の附し居たる二千圓の生命保險金さへ自殺なれば支拂はれずとあるに遺兒を抱きて涙に暮れ居る樣見るも氣の毒なり、而して日韓瓦斯電氣株、農工銀行株、朝鮮商業銀行株、等の**諸株券は委任狀附きの擔保**と成り居、れば今は既に其名儀も書き換へられたるべし兎に角債權債務を明にすべき帳簿が一冊も無きことなれば詳細は知るに難きも宋秉畯子の依托したるを三十万圓餘とし內五萬四五千圓は宋子が數度に受取りたりと云へば實際行衝不明となりたるものは**二十四萬五千圓**を下らざるべきが此の金氏の破綻不始末は明に鮮人の通弊たる事業を成すに於ける根本的志想を缺ぎたる結果なることを知らざる可らず鮮人たるもの深く之れに鑑み慮る可きなり

## ●捌翠樓の不法監禁

▽右女助の浮氣から

藝妓を抱へ居る一等料理店にして抱藝妓を虐待と迄行かざるも冷遇する事は事實にして又屢々耳にする處なるが今捌翠樓支配人が藝妓を不法監禁罪として其の筋に引致されたるも未だ秘密に付せられ居るが本社が探知したる異聞を報ぜんに引致されたる被告人は捌翠**樓主貫田りゆうの妹聟惣吾**とて樓主に代り同樓を支配しつゝある者にして監禁されしは同樓の精力藝妓**右女助**なるが原因は右女助が藝人狂ひ甚しく殊に**浪花館に於て興行中**なりし英國人ジヨンベル大阪落語家一座の**枝三郎**を引出し今を去る十日前迄南山町**高等下宿不明館**に連れ込み留き自由に外出して毎日朝より夕刻迄は枝三郎の處にて遊び居たり然るに右女助には本町通り某商店々員渡邊某と云ふ旦那あり右女助が斯る藝人狂ひを爲し居る事は知らずしての要求通り無心を聞き居るを同樓の藝妓某々等は氣の毒に感じ右女助に忠告したるに右女助は一向聞き入れず一層甚だしき亂行なるにぞ某々藝妓等は客に斯くと知らせ右女助と手を切らせたり右女助は**資本主の旦那殿と手を切らせられし**より自暴を起し諸所に借金を作り枝三郎に打込みつゝも傍ら東京相撲に總け込んで浮名を揚ぐるより捌翠樓の名譽に關するとて同樓にては一週間程以前より**外出を嚴禁**し一室に閉ち込め食事迄滿足に與へざりし位にて虐待爲し居る事其筋の探知する處となり六日午前捌翠に刑事が出張檢視せしに監禁しありたるより引致したる由なり取り調べの上七日午後三時身柄は一旦放還せられたり

## ●出刃を揮て人を斬る

▽原因は酒の上の喧嘩

原籍香川縣仲多度郡善通寺町番地不詳當時仁川松坂町二丁目石工職安藤嘉三郎方同居石工職河邊長太郎(二五)及び原籍廣島縣安藝郡吉浦村番地不詳當時前記安藤方同居同職中垣寨藏(二七)は他數名の者と五日夜同家にて飲酒酩酊し互に口論を始め遂に喧嘩を振上げ掴み合の大喧嘩となり他の者の止むるをも聞かばこそ河邊長太郎は炊事場より出刃庖丁を持來り減多矢鱈に振廻しければ一同手の付け樣もなく狼狽し居たる一刹那前記寨藏の後頭部へ長さ五寸深さ動脈を切斷せる大創を負はしめ尚も右頸部左足脛及右の脇の下數ヶ所を滅多切りに切りし騒ぎに花房町派出所巡査驅け付け直ちに加害者は取押へたるが被害者は居る大負傷を受けたるより同家を逃げ出て約六十間斗り行きて電氣會社橫手の十字街の眞中に打倒れたる儘絶命したりと云ふ速時檢事局よりは志水檢事寒川判事仁川警察署よりは野村警部八木田警察醫坂下今井の兩刑事は有ちに出張し檢視を爲し假豫審を開き被害者の死体は一と先安藤に引取らしめ加害者は本署に引致し昨日檢事局へ送られたり

## ●膽取事件判決

釜山東本願寺別院輪番井上香憲及役僧藤井顯證の膽取事件の上告は其の理由ありと認め刑事訴訟法二百八十七條の規定に依り他の裁判所に移す事なく所謂擬律の錯誤又は法律に背き公訴を受理したるものとして原判決を破毀し七日午前十一時高等法院に於て渡邊法院長以下陪席判事、國分檢事長、加茂書記立會の上左の如く判決書を交附せり

主文

原判決を破毀す

被告香憲を懲役二年被告顯證を六ケ月に處す、但し被告兩名に對し未決拘留日數四ヶ月を各本刑に算入す押收物件は各當事者に還附す

公訴裁判費用は之を四分し其の三を被告香憲其の一を被告顯證の負擔とす

理由の要領

一、原判決認定事實に依れば被告兩名は西本が犯罪に依つて得たる膽嚢を領得したるものなれば此れに對しては刑法第二百五十六條第二項を適用して處斷すべきものなるに原審に於て刑法第百九十條の死体損壊罪として處罰したるは違法なり

二、原判決に於て死体損壊と死体領得とを二罪として各々刑法第百九十條及第五十四條を適用し處分したれども第百九十條は葬祭の犯罪を處罰すべきものにしての死体損壊と贓物の領得とは同性質の犯罪なるが故に此を包含して觀察し一個の死体領得を以て論ずべきものとす原審が二個の犯罪として第五十四條を適用したるは違法なり、他の九點の上告理由は認められず上記の如く判決せられたり

## ●嬰兒壓殺事件公判

青森縣 木ウサ(三二)の嬰兒壓殺事件は七日京城地方裁判所刑事部法廷に於て原裁判長の係りにて伊藤檢事立會の下に公判開廷せられたり被告辯護人として官選辯護人大久保辯護士出廷せり被告は逐一犯罪事實を自白せり事實の審問證據調終りて伊藤檢事は被告に同情ある論告を爲し懲役三年を求刑し辯護人は刑の執行猶豫論を爲し言渡は次回開廷日に決し閉廷したり

## ●太ね女二人

本籍長崎縣佐世保濱田町野田さく福岡縣福岡市奈良屋町十番地野田すみは藝名夕霧一花と稱して何れも一ヶ月以前三年間五百圓の前借にて龍山桃山町第二種料理店泉與平方に於て稼業中去る五日午前五時頃家人の隙を窺ひて逃走したるにより此程店主より龍山警察署へ搜索方屆出づ

## ●甜瓜と西瓜と生水

本籍千葉縣君津郡小櫃村字山本千六百四十三番地當時龍山東柳町第三十號陸軍官舍良輔女林みち(三つ)は四日より疑似赤痢に罹り青坡病院へ收容せらる原因は去る三日より眞瓜西瓜及生水等を再々飲食せしに因りてなりと

## ●取消

左の通り申込みありたるに就き其の一部を取消す

明治四十四年八月六日貴紙三面に興行師の恐喝なる題下に土井爲太郎に對し叔父坂本吾市云々の記事有之候へ共右は事實無根に有之小生一身の名譽にも不勘係有之候條全文を掲げ御取消相成度候也 坂本吾市

## 京城花柳評判記 (一)

はしがき

花に囀く鶯と水に住む蛙とが向ふ水の頬冠りして一夜菜が枕邊に立ちて京城花柳界の評判な仕つたが浮氣な蝶に頬過をなめられしと見て、南柯の一夢は露なく覺めぬ、何れは水性の手合が申條埒もなきことゝは思ひつゝもツイ其の覗引寄せて綴り合はしたのが此評判記、何處へ筆が飛ばうとも巳の行觸じやないぞと憎まれもの、阿波鹿鴨が、ソレアノ向ふの岸根に。(柳緑花紅生)

●(頭取)鳥渡御報告申上ますが、寒暖計は只今の處室內溫度九十二度で御座います、如何樣れ暑い事で、當節の出盛氣にかくも賑々しく御運びを願ひましたは、頭取身に取りまして如何斗りか大慶至極に存じ奉ります。

●(芝居狂)其處に夏まつた!、宛然歌舞伎の名題披露と云ふ趣があるよ、役者の素顔が拜めると云ふんで貴婦人とかは悦には入るが、之れが爲め大枚二十五錢圓と言ふ無駄が出る譯だ。悪りい洒落さ。

●(頭取)東西ッ、何卒れ手軟かに願ひます、大躰が極く初心な方でげすから—!處で今日御集會を願ひました譯合を鳥渡かいつまんで申述べますから、暫時御靜聽あらん事を希望致します。エーッ日本は岩戸神樂の始めよりとか申しまして、諸事萬端先だちまするものは金とれ色氣で御座います

●(憧景詩人)實に左樣ですな、色氣と言ふと現代的でないですが所謂戀愛です、高調に達した愛情の極は[illegible]です

**開店**

八月八日より向壹週間壹割引

**浦汐更紗其他珍品**

京城明治町漢城病院下隣

**露西亞物產商會**

熱き波立つ血潮です、肉の觸接です、宇宙の諧和と社會の情調とはかくて保たれ、人類の幸福はかくて無限に續くのです、彼の晶子女史の

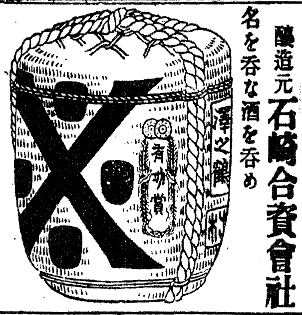
やわ肌の熱き血潮に觸れも見で淋しからずや道をとく君

●(無駄口)實に實に左樣なんです

●(無駄口)アーメンかね

●(頭取)まだ先が永いのですから、どうぞ前座だけ勤めさせて頂きたいもので其代り極く手短かに申上げます。と言ふ譯合の次第なんで御座いますが、就きましては當京城も年々歳々人口の增加に伴ひまして、所謂社會の半面を表示致しまする花柳界昨今の發展は實に目覺ましいもので、中就新町遊廓などは大薩摩入りの物凄い發展の仕方でげす、隨而れ茶屋藝者の方面も日に月に花柳界の面目を一新し、新橋の粹を競ひ、南地の艶に習ひ、八千代萬龍をツイポツト石鹸で磨き揚げた樣なのが續々と新輸入にならうと言ふ誠に結構な事に相成りましたうこで、此際あらゆる方面に渉つて京城花柳界の現狀を解剖して、いさゝか道界の參考に供したいと言ふのが抑も今日御集會を願ひました所以で御座います。どうか頭取の微意の存する處を諒とせられ、花柳界に對する御批評はもとより楽屋拔でも皮肉でも、乃至は小言れ惚話でも御腹藏なく御漏らしが願ひたいので御遠慮と野暮は今日の禁句でげすから、その積りで精々御舌戰を願ひます。

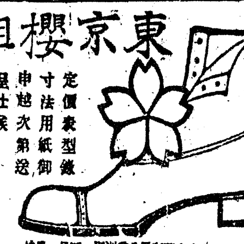
諸公債諸株券 ●現物賣買
迅速確實に御取扱可申候兼業
既製洋服卸小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村銀七代理店 田中友吉商店
電話九九三 振電替(タ)



大阪市東區平野町二丁目
釀造元 石崎合資會社
名を呑な酒を呑め

中毒を恐るゝものは澤の鶴を呑め
一手販賣 朝鮮京城本町二丁目 佐藤牧商店 (電話二九番) 振替二九番

東京櫻組
定價表型錄 寸法用紙御申越次第送呈仕候



東京市麹町區八重洲町一丁目一番地
合資會社 櫻組製靴部
電話本局三一八六・三一八六・三一六四・振替口座東京一六五二七

瓶詰は御進物に御便利で樽詰は御徳用です
販賣店は到る處の酒店に有ます
宅支店



男ちゞれ 女くせ毛 赤毛は何程の難毛も根本的に矯正黒化する最新發見 專賣特許
卷液を郵券封入申込の方に敎授す 美髪に治て差上升
●東京市麻布區材木町 岩阪澄子

英國製 SWEET HOME BIRMINGHAM ENGLAND
直輸入新荷着
車體堅牢にして優美
スヰトホーム號
歐米各國自轉車直輸入商
京城本町二丁目 織居商店自轉車部
電話四八〇番(電略オ)

工業用家庭用 洗濯石鹼
アイランド浮石鹼
マツプ
(其他)豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油・寄性曹達◎洋チャン◎椰子油
工業用諸油製造販賣
京城旭町二丁目 朝日石鹼製造所
電話九七三番 振替貯金番京城四〇〇番

しものやまい 花柳病 外科一般 痔疾專門
特ニけがのできもの
京城相生町 電話一二九四番 京城梅毒病院
分院 仁川仲町二丁目 仁川外科病院

嶄新建築材料
◎マルソイト便利瓦
◎石綿セメント瓦
◎P&B建築用紙
◎P&Bフエルト
◎P&Bアスファルト
◎吉田木材防腐劑
◎特許自働窓框止
◎建築用金物類
◎壁紙及硝子紙
◎リノリユーム敷物
◎鋼鐵中心飾
◎鋼鐵打出天井板
京城永樂町二丁目 東京藤原 京城支店 (電話一八九番)
工事見積等は懇切に御相談に可應候間御用の節は御一報被下度候

木材防腐劑
電柱、枕木、橋梁、土臺、根太、板棚、床板、羽目板、門塀、流シ、物干シ其他地中水中等に用ゐる木材へ塗抹し其命脈を永久保持す
和製プレザアリンは當商會特製品にして品質優良配合簡和正確然して價格は舶來品の約半價なり●詳細說明書は御申越次第送呈す
和製プレザアリン 獨逸製カルボリニウム 英國製ストツクフロツト 米國製ウーヂリン
發賣元 東京京橋元數寄屋町三ノ五 電話新橋二一三八番 渡邊商會

牛乳
●弊場にては特に優良なる牛乳を搾取販賣仕候
仁川京町四丁目 深堀牧場 電話五四五番

齒科診療
京城南山町二丁目(天眞樓隣 寫眞館跡)
齒科醫 楢崎東陽
電話千三百六十番

注意
猥りに村井玆齋先生を利用する類似品あり
本品の外・村井先生の實驗證明せられたるものなし
村井玆齋先生實驗證明●糠精●と命名せらる〜
かつけ 腸胃病 心臟病 特効食料 糠精
證明書
尾崎兄弟飼禽場ニ於テ試驗ノ結果尾崎氏製糠精ノ脚氣心臟胃病ニ偉効アルコトヲ證明ス
明治四十三年六月一日 陸軍二等軍醫正ドクトル都築甚之助印
●製造發賣元 東京麻布霞町宮崎商會
販賣元 東京牛込谷尾崎兄弟飼禽場●各地藥舖食料品店にあり 大阪出張所 大阪北區堂島船大工町一
特約店 京城本町三丁目 龜屋商店 振替口座朝鮮二七番電話二七番
同 釜山辨天町二丁目 福榮商店 振替口座東京九五一五番(電話三三九番)

世界一のかぜ藥
全國藥店にあり



ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり
蛇印 アンチピリン丸
藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢
發賣 大阪心齋橋二丁目 丹平商會
本舖 東京日本橋通油町 丹平商會
代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座京城十六番

TRADE MARK SUN RISE
▲別上特製品 ▲大陽一等品
▲敷島二等品 ▲月世界三等品
▲大和四等品 ▲菊世界五等品
最新式製粉機を使用し良好なる原料を撰び精製仕候間不拘多少御注文之程偏に奉希候
京城中部琵琶町(水標橋通)
京城製粉所
京城永樂町二丁目 京城製粉所販賣本部

義齒術一般
京城明治町一丁目(森、村質店隣)
榊齒術所
電話は(六六九番)へ

効能ある溫泉
浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せん、きんびよう、しようかち、ばいどくせいできもの、ひせんがさ其他皮膚病一切
外用効能 かつけ、らいびよう、じのいたみ、つきやくふちゆん、ひきりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんきん、たむし、うちみ
內用効能 あせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、う…
いつう、りようまちす、せきずい、じんぞう、あびよう、ちようかたる、らいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきう、げり、しんけ、はら
京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手(電話一四一一番)
旅館 浴客 貸席 鐵冷溫泉

京城暇町百七番戸
水車唐箕製造販賣
土井米吉工場
電話千三百二十六番

眼科專門
前大韓醫院眼科部長
京城本町六丁目(元軍司令部通り) 金井眼科醫院
電話一五五六番 金井豊七

印刷と紙
諸紙 和洋帳簿 諸官衙御用
印刷 各種製本
京城本町六丁目 播本商店
電話百拾番

酒精アルコール
●新荷着
仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略ナ) 坂倉支店

今回諸事改良をなし 最も便利に取扱申候
靜養所 仁川 八景園
(電話五五二番)

韓國銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話 番 六番 ……番 貳六〇番 六貳番
支店出張所(大坂、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、新義州、安東縣)
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

M.C.C.
專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
土耳古 紙巻 實
エムシーシー
京城、平壤 龜屋 釜山、木浦、群山 高瀨支店

弊館には夜警の設備有り
陸軍指定旅館 仁川海岸
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
各保險會社指定旅館
御客様の安全此の上なし
旭屋旅館
電話二五一

總督府及諸官衙御用
荷物運搬 引越荷物受負
伊藤組
本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
岡崎第二 電話一六〇八番

緩和下劑
カスカラ糖衣錠
東京三共合資會社朝鮮總代理店 仁川本町 竹田津三平

本場精撰

右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣さも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候
仁川本町四丁目(府廳通) 田中芳春園
電話五〇番 振替京城五〇二番

實味噌は白と赤さの二色で味好と天下一品
特製 實味噌 御料理向

味噌製造 漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

瓦斯コークス販賣
京城黃金町高等演藝館隣
酒井組
電話二一四九番

名譽銀牌受領
キリンビール

芙江 公州 間 定期出帆
芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船內御客様の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ
七月中 瀛船出帆廣告
三省丸 天草丸 成歡丸 海利丸 成歡丸
屯串行 海州行 鎭南浦行 海州行 大湖芝行
八月 日前時 …… 八月八日前八時
合資會社 仁川本町四丁目 秋田商會船舶部
電話一七三五〇番

元扱 瀛船出帆廣告
安東縣行 三笠丸 八月七日未明
仁川本町二丁目(電話八五〇番)
仁和洋行 竹田津三平